「撤回」を読み解く ▷3◁ ―識者評論

大久保 奈弥氏（東京経済大准教授）

サンゴ保全 責務放棄

先月13日、県の水産課がサンゴの専門家（匿名）の助言を得て、海域に生息する絶滅危惧種のオキナワハマサンゴを採捕する許可を防衛省に出した。そして、知事が撤回の方針を表明した日、防衛省は当該サンゴを移植し、残された護岸工事に着手した。埋め立ての免罪符としての移植である。

沖縄の観光業を支えるサンゴ礁生態系の減少は温暖化だけが原因ではなく、埋め立てによる人為的破壊が大きい。しかも、これまでのサンゴ礁再生事業の結果を見れば、サンゴの移植や幼生着床具で元のサンゴ礁生態系を再生することが難しいと分かる。最新の報告では、移植後の3年後の生残率は30％以下、場所によっては10％以下である。それにもかかわらず、防衛省が「移植」を辺野古大浦湾など埋め立て開発の「環境保全措置」にできたのは、死亡率やコスト高といった負の側面よりも、「植え付け（移植）でサンゴ礁生態系を再生させる」といった宣伝文句が一般市民に強調されてきた結果とも言える。この点で、サンゴの移植をCSR活動にする複数の大企業、それを業績につなげる研究者、環境省や県に対して今後の広報の慎重さを求めたい。水産学的には重要なサンゴの養殖・移植技術だが、それを安易に企業や大学のイメージアップや保全活動に利用することで逆の効果をもたらしている。

そして今、防衛省はその免罪符としてのサンゴ移植の約束さえもほごにした。工事実施前には埋め立て予定海域のサンゴを移植する、白化や死亡の恐れがある高水温期を避けて移植するとしたのに、既に工事を行い、暑い夏の最中にサンゴを移植した。

この暴挙に対して、普段は保全を声高に叫ぶ環境監視等委員会の科学者らはどう対応したのか。彼らが移植や白化に関する過去の文献を読まず、ましてや委員会の議事録にある通り、絶滅危惧種のサンゴを「案外夏場でも移植可能ではないか」とまで根拠なく発言しては、知事の撤回理由の一つである「案外夏場でも移植可能ではないか」とまで根拠なく発言しては、委員らが科学者としての務めを放棄したと見られてもしかたあるまい。

環境監視等委員会は辺野古大浦湾の海洋環境とサンゴやその他の生き物たちを守る責務を負っている。そのことを自覚し、防衛省に対して毅然（きぜん）とした提言を行わなければならない。委員会の科学者らは、知事の撤回理由の一つである「環境対策に関する事前協議が不十分である」という事実を重く受け止めるべきだ。（生物学）

酒税軽減延長など要望

県、税制改正に9項目

県は2日、沖縄振興特別措置法や復帰特別措置法に基づく税制優遇制度の継続と拡充を求める、2019年度税制改正要望を国に提出した。19年5月に期限が切れる泡盛やビールの酒税軽減措置を3年間延長することや、航空機燃料税の軽減が受けられる対象地域に「下地島」を追加することなど計9項目を要望した。

雇用の質や人材育成を図る観点から、県内企業が従業員の教育訓練に支出した金額の一定割合を税額控除する「人材育成促進税制」の創設を、新たに要望事項として盛り込んだ。

沖縄振興税制は、8月末までに内閣府が改正税制案をとりまとめ、9月から10月にかけ、自民党の調査会で審議。12月に与党の税制大綱が決定する。19年度沖縄関係予算の必要額確保を要請するため上京している謝花喜一郎副知事が、税制改正についても県要望の実現を政府与党に要請する。

沖縄振興特別措置法に基づく地域制度では、「観光地形成促進地域制度」「情報通信産業振興地域および特区制度」「産業高度化・事業革新促進地域制度」「国際物流拠点産業集積地域制度」「経済金融活性化特区制度」「離島の旅館業に係る特例措置」が19年3月末に税制優遇の期限を迎えることから、いずれも適用期限の3年間の延長を求める。

また、現行の観光地形成促進地域制度では税制優遇の対象外となっている「宿泊施設の新増設、改修」にも対象を広げることなど、制度の拡充要望も盛り込んでいる。

航空機燃料税の軽減措置については現在、那覇、宮古島、石垣島、久米島の4地域が、沖縄路線航空機として軽減措置の対象となっている。宮古島の下地島では来年3月に旅客ターミナルビルが開業し、国内線や国際線の就航が予定されていることから、対象地域への追加を要望する。

来年度予算の確保や税制特別措置延長などを官房長官に要請後、記者団の質問に答える謝花喜一郎副知事（中央）＝2日、官邸

3600億規模 政府に要請

19年度沖縄予算 具体額を初明示

【東京】県の謝花喜一郎副知事が2日、菅義偉官房長官や衆参の県選出・出身国会議員、財務省、国交省などを訪ね、2019年度の沖縄関係予算は3600億円規模の概算要求をするよう要請した。具体額を掲げて要請するのは初めて。謝花副知事によると、菅官房長官は一つ一つの要望事項の説明にうなずいて聞いただけで具体的な返答はなく、子どもの貧困や離島振興に取り組むと強調していたという。

このほか税制特別措置の延長・新設や大型MICE施設整備への支援、鉄軌道を新幹線方式で事業化することも求めた。

県の国庫要請は前段の状況説明の中で要求額として「3600億円規模の概算要求が重要」と具体的に金額を掲げた一方、個別の要望事項の中では「総額3千億円台を確保すること」とした。このほかソフト交付金に800億円台、ハード交付金に900億円台を確保することも求めた。

官邸への要請には県市長会の島袋俊夫会長（うるま市長）と県町村会の外間守吉副会長（与那国町長）も同行した。

3日は福井照沖縄担当相や公明党の山口那津男代表らへ要請する予定。二階俊博自民党幹事長への要請も調整している。

省庁再々編を提言へ

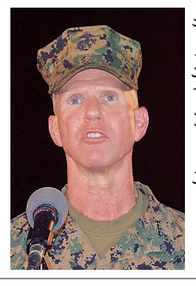
自民、今月中取りまとめ

自民党の行政改革推進本部（甘利明本部長）は2日、幹部会合を党本部で開き、2001年以来となる省庁再々編を視野に提言を取りまとめる方針を決めた。8月中に安倍晋三首相へ提出する。働き方改革などで肥大化する厚生労働省の業務再編、分割が論点の一つになりそうだ。

現在の1府12省庁体制が社会や経済の変化に対応できていないとして、現状に応じた政策立案力を強化するのが狙い。厚労省による不適切なデータ処理や森友学園を巡る財務省の決裁文書改ざんなど、政権不祥事が続出したことも踏まえた。9月の党総裁選で省庁再々編の是非が争点になる可能性もある。同本部幹部は会合後「現行体制の功罪を洗い出し、あらゆる省庁を対象に組織の在り方を検討する」と述べた。

同本部は提言で、01年の省庁再編から20年近くが経過して浮かび上がってきた課題や問題点を列挙する方向だ。

在沖米軍トップ スミス中将着任



取材に応じる第3海兵遠征軍新司令官のエリック・スミス中将＝2日、うるま市の米軍キャンプ・コートニー

在沖米軍トップの四軍調整官を兼ねる米海兵隊第3海兵遠征軍司令官の交代式が2日、うるま市のキャンプ・コートニーで催された。新司令官に就任したエリック・スミス中将に、前司令官のローレンス・ニコルソン中将から部隊旗が引き継がれた。スミス氏は第1海兵師団司令官だった。

式典後、記者団の取材に応じたスミス氏は、朝鮮半島の緊張緩和を受けた在沖海兵隊不要論の高まりについて「さまざまな危機に対応するため、常に訓練し備えている。私たちの意義は北朝鮮だけではない」と答えた。米軍機関連の相次ぐ事故や米軍関係者による事件については「失敗も含めて隊員の全行動は私が責任者ということになる。本国と同様、高い基準を持って安全を確保する」と語った。

式典には、ロバート・ネラー米海兵隊総司令官ら海兵隊関係者のほか池田竹州県知事公室長、中嶋浩一郎沖縄防衛局長ら日本側関係者が出席した。

下水に放射能汚染水

米軍、厚木・三沢で数千ガロン

在日米軍司令部は2日、東日本大震災の救援活動「トモダチ作戦」に参加した厚木基地（神奈川県）と三沢基地（青森県）に駐留する米軍が2011年6月に、福島第1原発事故に対処した際に発生した数千ガロンの放射能汚染水をそれぞれの基地で下水道に流していたことを明らかにした。

本紙の取材に同司令部は「下水道に排水する前に日本政府が定めた基準に基づいて安全だと判断された」と説明した。

汚染水は、トモダチ作戦で使った航空機や備品の洗浄で生じた。健康上の問題について「日本政府が提供する適切な基準を満たすために必要な措置を全て講じた」と強調した。

米軍普天間飛行場にも、除染で使用した布などトモダチ作戦で発生した放射性廃棄物が保管されていた問題については、「日本政府の基準に従い、東京電力によって適切に処分された。

現在は保管していない。トモダチ作戦に使われたCH46（ヘリコプター）は普天間飛行場に配備されていない」と説明した。保管が発覚した当初、県や宜野湾市への通報が遅かったことで批判を浴びた。

「いじめ」相談 最多517件

17年度沖縄労働局

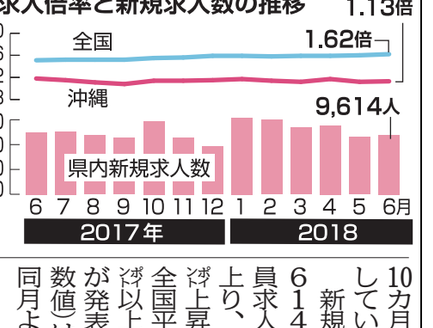
沖縄労働局（安達隆文局長）が県内6カ所に設置する労働相談コーナーに寄せられた「個別労働紛争」の相談件数が、2017年度は2025件となり、このうち「いじめ・嫌がらせ」に関する相談が517件と最も多かった。職場いじめに関する相談は前年度より17件増え、4年連続で500件を超えた。

「いじめ・嫌がらせ」の相談が増えている理由について、安達局長は「パワハラなどが問題化されるようになり、悩みを外部に相談しても良いと思う人が増えたのではないか」と分析した。

有効求人1倍台 21カ月連続維持

県内6月

沖縄労働局（安達隆文局長）は7月31日、県庁で会見し、県内6月の有効求人倍率（季節調整値）が1・13倍だったと発表した。21カ月連続で1倍台を維持したが、有効求人倍率の全国平均は1・62倍で、沖縄は10カ月連続で最下位を記録している。



新規求人数（原数値）は9614人で、そのうち正社員求人の割合は32・7％に上り、前年同月より1・2ポイント上昇したが、依然として全国平均の43・7％とは10ポイント以上差が開いている。県が発表した完全失業率（原数値）は3・5％で、前年同月より1ポイント改善した。

本部町長選向け 平良副町長辞職

【本部】8月28日告示、9月2日投開票の本部町長選に出馬表明している平良武康副町長が7月31日付で、副町長を辞職した。高良文雄町長に退職届を提出し、受理された。

グッジョブ運動 3社1個人表彰

18年度功労

雇用機会の拡大と雇用の質の向上を目指す県産業・雇用拡大県民運動（みんなでグッジョブ運動）推進協議会（会長・翁長雄志知事）は7月30日、県庁で2018年度の功労者を表彰した＝写真。表彰を受けたのは沖縄ダイケン（當山全信代表取締役会長）、東開発（仲泊栄次代表取締役社長）、ONNA（當山憲一代表取締役）、仲村義明氏（専修学校育成保育カレッジ学院長）。

新基地反対運動 立憲ネット協力

総会で方針採択

【東京】地方議員でつくる自治体議員立憲ネットワークの第5回総会が7月30日、都内の衆議院第2議員会館で開かれた。11月の県知事選への支援や辺野古新基地建設反対運動への取り組みに協力していく運動方針などを採択した。来年の参院選に向けた野党共闘の必要性も確認した。

方針提起で共同代表の仲村未央沖縄県議が、翁長雄志知事の埋め立て承認撤回の動きなどを上げ「沖縄では地方自治、命の問題として安倍政権との対決を迫られている。いま一度沖縄への声を各地でつなげてほしい」と協力を求めた。

来賓としてあいさつした立憲民主党幹事長の福山哲郎参院議員は、辺野古問題について「できる限り早く県連を立ち上げ、沖縄の方とのコミュニケーションを深めていきたい」と述べた。

総会には、共産党の小池晃書記局長や社民党の又市征治党首、平和フォーラムの福山真劫代表が来賓として出席した。

国民民主党の玉木雄一郎共同代表と自由党の小沢一郎共同代表のメッセージも読み上げられた。

人事

沖縄防衛局

北海道防衛局長（沖縄防衛局次長）高木健司▽沖縄防衛局次長（熊本防衛支局長）竹内芳秀▽中国四国防衛局企画部長（沖縄防衛局管理部長）本多宏光▽沖縄防衛局管理部長（独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構沖縄支部長）脇坂真一▽地方協力局提供施設課整備計画官（沖縄防衛局調達部次長）御園只士▽北関東防衛局調達部付（沖縄防衛局調達部付）長嶺正勝▽北関東防衛局管理部施設取得課長（沖縄防衛局管理部施設管理課長）西山大策▽沖縄防衛局調達部次長（調達部付）日下良太▽沖縄防衛局管理部施設管理課長（地方協力局地方協力企画課政策企画室政策総括班長）大曲紀章（3日）

知事の「代役」

記者席

○…東京都内で開催された「国立沖縄自然史博物館」設立を目指すシンポジウム（県など主催）で誘致を訴えた石垣市の**中山義隆市長**。「沖縄で一番高い山があり、グレートバリアリーフにも負けない石西礁湖もある。洞窟からは2万4千年前の人骨が出てきた。自然史でも非常に面白い場所」と石垣島の地の利を挙げた。さらに県全体の観光拡大にも触れ「知的好奇心を求めて人が来れば十分ペイする」と費用対効果も試算。知事に代わって沖縄誘致を猛アピールした。

りゅうちゃんクイズのこたえ 2642

③シークヮーサー

配合飼料と果物を混ぜ合わせてタマンに食べさせる実験を重ねたんだ。魚の臭みを抑える香りと風味を楽しめるよ。

主要渋滞、県内2カ所解除

2018年度第1回沖縄地方渋滞対策推進協議会が1日、那覇市おもろまちの沖縄総合事務局で開かれ、「主要渋滞箇所」の解除や、道路の整備効果などについて意見を交わした。主要渋滞箇所191カ所のうち解除は一般道2カ所にとどまった。高速道路の解除区間はなかった。

今回、解除されたのは、屋慶名（西）と我如古の交差点2カ所。交差点の改良の結果、渋滞の改善がみられ、所在自治体も混雑緩和を実感しているとの回答を得た。

林業振興などを要望

【東京】県森林協会の宮城久和会長（国頭村長）らは7月30、31日の両日、東京で自民党の二階俊博幹事長ら党幹部、林野庁の牧元幸司長官らと面談し、沖縄の林業振興や森林環境譲与税の使途拡充、やんばる3村と西表島の世界自然遺産登録に向けた取り組みを要望した。

■県内検診異常率64％

沖縄労働局（安達隆文局長）は7月31日、県庁で会見し、2017年の県内の有所見率が64・7％だったと発表した。有所見率は県内10200の事業場（受診者数11万407人）のうち、定期健康診断で異常が見つかった割合で、全国平均は54・1％。沖縄は7年連続で最下位を記録した。

■7月の県推計人口、微増

県統計課が7月31日に発表した7月1日現在の県推計人口は144万5812人で、前月比で676人（0・047％）増え、前年同月比で3830人（0・27％）増えた。前年同月比の増加率が最も大きかったのは、渡嘉敷村で3・0％増、次いで中城村で2・42％増となっている。減少率が最も大きかったのは、伊是名村で3・02％減、次いで国頭村の2・36％減だった。

新報 あなたの街のお医者さん
広告のお申し込み
(有)沖縄マーケットプランニング ☎877-8588
『あったらいいな』という声にお答えして誕生しました！
WEB版 あなたの街のお医者さん
沖縄のお医者さん 検索
http://okinawa-dr.com
開業医の皆様へ 只今登録募集中！
●お問合せ・資料のご請求は
☎(098)877-8588
info@okinawa-dr.com

那覇市 Joyレディースクリニック くもじ
院長 大島 教子
●子宮がん検診
那覇市・浦添市・豊見城市 子宮がん検診受診券、利用できます。
●特定健診 ●更年期障害
■休診日／金曜・日曜・祝祭日・土曜午後
那覇市久茂地1-8-16 琉球銀行本店裏
ゆいレール「県庁前駅」徒歩3分
TEL(098)943-2500
www.joy-kumoji.com

那覇市 みやびクリニック
睡眠1泊検査
いびき、無呼吸、眠気などの症状に
子供から大人まで可能
■休診日／木曜・日曜 祝日
日本睡眠学会認定医 日本耳鼻咽喉科学会専門医
院長 仲西 雅人
〒900-0025 沖縄県那覇市壺川1丁目12-4
☎098-835-9660
www.miyabi-clinic.jp

那覇市 又吉内科クリニック
胃カメラ（経鼻）
大腸カメラ
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医
院長 又吉 亮二
☎866-0007
◆休診日：日曜日／祝祭日／水・土曜日午後
モノレール安里駅より徒歩1分 駐車場20台
ホームページもご覧下さい。又吉内科 検索

那覇市 内科 前田胃腸科医院
胃カメラ・大腸カメラ・腹部超音波
経鼻内視鏡（鼻からの胃カメラ）
内科・消化器科・生活習慣病
胃がん・大腸がんは早期発見・治療
前田 憲信（漢方薬治療）
前田 企能（内科・消化器内視鏡専門医・消化器病専門医）
入院室あり
TEL.832-4889
駐車場あり

那覇市 RIO歯科クリニック
歯科・小児歯科・口腔外科・インプラント
院長 しゅどう のりお
平日 あさ9時～よる9時（昼休み／1時～3時）
土・日・祝 あさ9時～ひる3時（昼休みなし）
TEL.098-885-6487
那覇市首里儀保町3-28 宮城ビル2F

那覇市 おもろまち駅前歯科
歯科・小児歯科
★平日★ 夜8:00まで（最終受付19:20）
土曜9:00～17:00
休診日 木曜・日曜・祝日
☎863-4618 モノレールおもろまち駅より徒歩1分
http://naha-dso.com

那覇市 医療法人てぃーだ 宮城歯科クリニック 沖尚ヨコ
めまい、強度の頭痛をともなう
顎関節症
三叉神経痛、耳鳴り、首痛の相談
首わしづかみ まーてる先生 で検索
まずは、お電話を 098-832-0008

浦添市 徳山内科医院
内科・リウマチ科
膠原病外来・甲状腺外来・生活習慣病
院長 徳山 清公
受付時間 月 火 水 木 金 土
午前8:30～12:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○
午後1:30～5:00 ○ ○ ○ ／ ○ ／
休診日／木曜・土曜午後、日・祝日、旧盆(ウークイ)
☎098-875-8700
大平インターチェンジより58号向け50M左

那覇市 なごみ泌尿器科クリニック
天久りうぼう楽市・沖銀裏
泌尿器科専門医
院長 城間和郎
受付時間 月 火 水 木 金 土
午前 8:30～12:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○
午後 13:30～17:00 ○ ○ ／ ○ ○ ／
休診日：日曜、祝祭日、年末年始(12月30日～1月3日)
沖縄県那覇市天久1丁目8-1 コーポ杜 201
予約優先
TEL.098-866-7531

熱中症に気をつけましょう
■涼しい服装
■日陰を利用
■日傘・帽子
■水分・塩分補給